



## 第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師  
 プレイズリード：郭永東牧師

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「神の家族」 「聖い御霊よ」	会衆	
聖書朗読	詩篇 8：1-10 (旧約聖書 p 840)	司会	
祈禱		司会	
賛美	7	会衆	
メッセージ	「創造主の造られた 世界と人間」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	7 5	会衆	
献金祈禱		司会	
報告		司会	
頌栄	新生 6 7 2 b	会衆	
祝禱		牧師	



## 第二礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師  
 司会：渡真利なおみ執事  
 聖書：列王記下 4：8-37  
 メッセージ：「エリシャの奇跡」

プレイズ：「いつも主にあって」「小羊イエスに」  
 賛美：新生 7 6 新生 5 8 6



## ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉

聖書：ヤコブ 5：7-20  
 メッセージ：「主が来られるときまで」

## <巻頭言>

牧師 渡真利彦文

「東京オリンピック・パラリンピック期間中、100万時間の祈りを！」  
 (クリスチャン新聞 2021年7月11日の記事より)

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、国内でも感染が収まらない。7月開催の東京オリンピック・パラリンピックも国民の60%以上が中止・延期を求めている状況だ。だが、IOC(国際オリンピック委員会)、日本政府、東京都は開催を決定。パブリック・ビューイングは中止し、人数制限や無観客で行うなど、感染対策を徹底しながら準備を進めている。これを受け、日本や海外の教会及びキリスト教団体の協力で30日間のオリンピック・パラリンピック開催期間中、国内外のクリスチャン有志が毎日1時間祈る「100万時間の祈り」を行うことを決め、日本の教会にも参加を呼び掛けている。

1日1時間祈る人が3万3千333人いたら到達できる。3千教会から10人の祈りの勇士を出せば、30日間で達成できる。その祈りが成し遂げられた時、神様は素晴らしいことを起こしてくださると信じる。

オリンピックは7月23日から8月8日、パラリンピックは8月24日から9月5日まで。この期間中、出場する選手たちがベストを尽くせるように、コロナで大会を運営する関係者のために、開催により感染が広がらないように、日本や日本の教会の為になど、その日に行われる競技を含めて毎日、4つの祈りの課題をあげ、祈り合う。「5分、10分でも祈りたい」という人も歓迎する。